

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			スペースは広くとることができるため、体を使った遊びを提供することができる。また、児童間の相性に合わせて、環境を整備していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			児童数に対して職員配置は適切であるが、児童の障害程度によって、多少の不足感を感じることもある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			トイレやスロープなど、配慮されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		都度見直しを行い、改善に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表の記入依頼や、日頃より送迎の際などに話をする事により、ご意向を聞いている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価の存在は承知しているが、利用していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人にて研修委員会を設置し、研修を行ったり、外部研修に参加して、研鑽に努めている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日頃より送迎の際などにコミュニケーションを図り、必要に応じてご意見を聞いたり、支援計画の見直しの時期には、ご意向を確認している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			ツールがあるため、うまく活用していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			誕生日会や季節に合わせた行事などについて、チームで意見を出し合い、実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		曜日やメンバーに合わせたプログラムを変更している。アセスメントの状況によって変化を嫌う児童に関しては、必要に応じて固定化させる場合もある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		大枠を決め、その都度利用児童の特性などを見て、プログラムを決めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			可能な限り実施をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		可能な限り送迎担当職員を含め、ご家族からの意向はあったかなど、その日の意見交換を総合的に行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			把握する児童を決め、きちんと記録が残る体制にしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年2回の支援計画作成において、定期的にモニタリングを実施する。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			その日のプログラムにおいて、流れに沿って実施している。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			利用状況を把握している職員が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校側と直接話をして、児童の状態把握を共有している。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○	主治医との連携が必要な児童の受け入れなし。支援についてはご家族と連絡を取りながら支援にあっている。また、該当児童の利用があった場合は、ご家族・主治医と連携を取って支援に当たる。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○	該当児童の受け入れがない。受け入れる際には実施をしていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○	同法人内の事業所へ移行した児童に関しては、情報提供を行い、スムーズに対応できるようにしている。今後他事業所からの問い合わせについても対応をしていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	専門機関の研修を受ける機会はある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	利用児童の年齢が上がり、児童館利用に適さなくなってきたため、実施せず。ただし、公園などで活動することはある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○	事業所連絡会に参加。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	送迎時に実施。ご家庭での様子や、サービス利用時の様子の情報交換を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	特別な機会は設けていない。支援に付いて検討をしていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約時に実施している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	問い合わせに対してできる範囲で実施。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	以前は実施していたが、ご家庭の状況などを加味して、今は実施していない。
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	苦情窓口を整備しており、迅速に対応ができるよう努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	実施している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○	実施している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	実施している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	法人として行事を実施し、案内を出してはいるが、事業所として地域住民を招待できるような行事は実施していない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	各種マニュアルを整備しているが、保護者へは周知できていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	法人内に虐待防止委員会を設置。研修の実施及び研修機会の提供を進め、日頃より対応に関して協議している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	身体拘束等を行うことが無いよう配慮し対応している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	ご家族に受け入れの際に確認を実施している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	PC内のソフトにて記録作成し、状況の共有を行っている。